



スマートシティ・ガイドブック分科会 第1回

2021年1月27日（水）

内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省
(スマートシティ官民連携プラットフォーム 事務局)

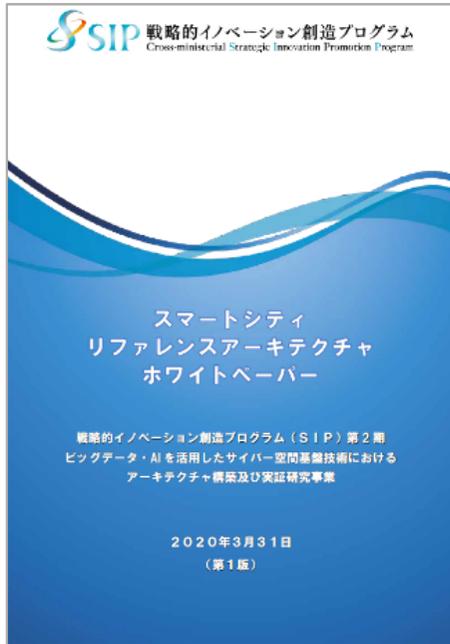
スマートシティガイドブックの作成について

○統合イノベーション戦略2020等に基づき、**Society5.0の総合的ショーケース**として政府をあげてスマートシティの取組を推進。

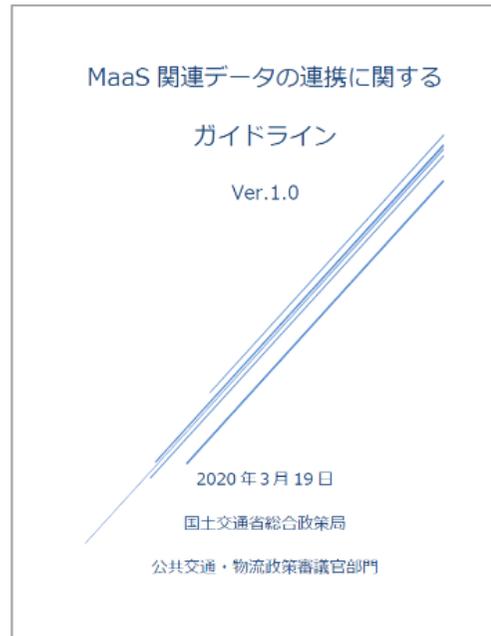
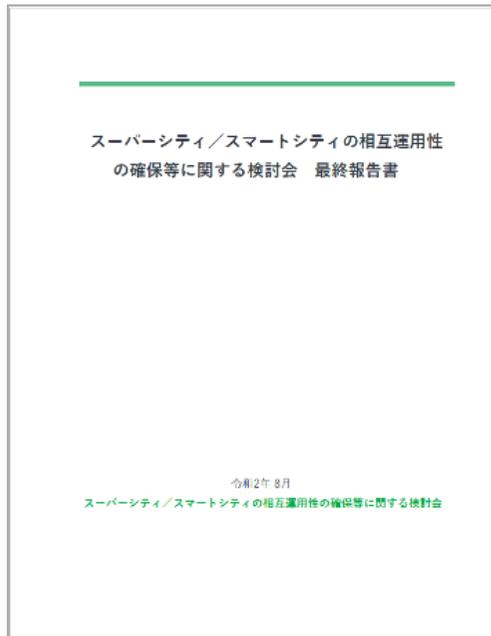
○新型コロナウイルス感染症を契機とした**デジタル化**や、AI、IoTをはじめとする**各種技術開発が急速に進展**する中、これらの技術をまちづくりに取り入れ、市民生活の質、都市活動の効率性等の向上を図ることは、**今後のまちづくりの基本となるべきテーマ**であり、全国多くの都市・地域においてスマートシティの取組が進められることが望まれる。

○この観点から、**スマートシティに取り組む地方公共団体、公民連携の協議会等を支援**するため、先行してスマートシティに取り組む地域における事例等を踏まえつつ、スマートシティの意義・必要性、導入効果、及びその進め方等について、ガイドブックとしてとりまとめることを目的に、本検討会・分科会を設立。

進化の過程



ガイドブック



- 策定主体
内閣府
総務省
経済産業省
国土交通省

スマートシティガイドブックの検討会と分科会の開催

基本的 考え方

- ✓ 検討会有識者は、**都市マネジメント分野**と**デジタル分野**からご出席
- ✓ **好事例と思われる地域**を各省事業から抽出し、検討会の場で該当自治体・企業から事例紹介
- ✓ 官民連携PFに分科会を設置し、当該分科会における議論を検討会に反映

検討会

● 検討会 有識者

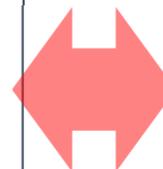
- 石田 東生** 筑波大学 名誉教授 **[交通計画、都市計画]**
－革新的環境イノベーション戦略検討会委員 他
- 川島 宏一** 筑波大学 教授 **[自治体オープンデータ]**
－スマートシティ推進の今後の在り方に関する検討会（総務省）委員 他
- 越塚 登** 東京大学 教授 **[AI、データシステム]**
－データ連携検討会座長 他
- 宍戸 常寿** 東京大学 教授 **[個人情報保護]**
- 中川 雅之** 日本大学 教授 **[公共経済、都市経済]**
－スーパーシティ有識者懇談会委員 等
- 東 博暢** 日本総合研究所 プリンシパル **[スタートアップ、データ活用]**
－ICTまちづくり推進会議WG委員 他
- 日高 洋祐** MaaS Tech Japan 代表取締役 **[Maas社会実装]**

● 関係団体

- (一社) 日本経済団体連合会
- (一社) スマートシティ・インスティテュート **[国内外事例・人材育成]**

官民連携PF

- ガイドブック検討分科会を新たに設置
- 検討会と並行して分科会を運営し、分科会における議論を検討会に反映



参加型合意形成プラットフォーム「Decidim」

スマートシティガイドブック分科会

検索

事務局_土屋 ▾

ホーム

参加型プロセス

ヘルプ

スマートシティガイドブック 分科会 へようこそ！

- ・オンラインで多様な市民の意見を集め、議論を集約し、政策に結びつけていくための機能を有する、参加型民主主義プロジェクトのためのツール
- ・バルセロナやヘルシンキなど、世界中の30を超える自治体で利用
- ・一般社団法人コード・フォー・ジャパンが中心となり日本語化、国内では加古川で初めて導入
⇒ 皆さまの意見やアイデアに対し、フィードバックを行え、徐々に議論を活性化できるものに

アクティブな参加型プロセス

みんなでつくるスマートシティガイドブック

アイデア募集フェーズ（1/27~2/24）では、ガイドブックに関する皆さんからの意見・提案・アイデアを募集します！

[詳細情報](#)



Decidimでのご意見・ご提案の募集について

スマートシティのガイドブックの充実化に向けて、分科会メンバーによる現場での取組の知見を“Decidim”上で集め、ガイドブックに反映。

参加型プロセストップ

○ガイドライン骨子目次

1. スマートシティに取り組む意義・必要性
- 2-1. スマートシティに取り組む上での原則と基本理念
- 2-2. スマートシティのプロセス・手順
- 2-3. 主な課題と対応の考え方

各ディベート

事務局案

2-1. スマートシティに取り組む意義・必要性

・市民（利用者）中心主義

“市民QOLの最大化”がスマートシティの最大の狙いであることを認識し、行政や民間事業者等のサプライサイドではなく、・・・

参加メンバーでの議論

○事務局素案に対する賛成・反対意見の記入

Ex) (賛成) ～～なので、この基本原則の提言は重要

○参加者からの新たな提案

Ex) (提案) このような観点以外に、△△という観点も重要なので追加してほしい

Ex) (提案) △△市では～～を行っており参考になる

○参加者意見に対する賛成・反対意見の記入

Ex) (賛成) △△の意見に賛同

※賛成・反対の表明については、コメントごとに「いいね」ボタンでの対応も可能か

議論の進め方

	1/27 分科会	2/4 分科会	3/8 検討会	3月下旬 分科会	3月24or29日 検討会
会合の内容	骨子提示 意見交換（意義・ 必要性 ／推進体制）	意見交換（進め方 ／ビジネスモデル ／協調領域）	ガイドブック素案 提示 分科会の意見報告	ガイドブック案提 示	ガイドブック最終 案提示
全体	ページ開設 ガイドブック骨子 掲載			検討会終了後、 ガイドブック素案掲載	
フェーズ	<div style="border: 2px dashed blue; padding: 5px;"> <p>① アイディア収集フェーズ (1/27~2/24)</p> <p>ガイドブック骨子へ意見や事例提案募集</p> <ul style="list-style-type: none"> Decidim掲載の骨子案へのコメント 事例フォーマットの応募（メール） </div>		分科会意見中間とりまとめ 検討会で報告	<div style="border: 2px dashed blue; padding: 5px;"> <p>② パブリックコメントフェーズ (3/10~3/21)</p> <p>ガイドブック案に対する意見を投稿</p> <ul style="list-style-type: none"> Decidim掲載の文案へのコメント投稿 </div>	
個別 ディ ベート	<ul style="list-style-type: none"> ガイドブックの目次ごとにディベート設定 賛否表明、コメント投稿 ガイドブックに掲載したい取組事例もご紹介ください 新たな視点での提案も積極的にお願 いします 			<ul style="list-style-type: none"> ガイドブックの目次ごとにディベートを設定 賛否表明、コメント投稿 取組紹介や新たな視点での提案は△ (なるべくアイディア収集フェーズで お願いします) 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> 分科会で出た意見は、事務局でDecidimに投稿 ※発言意図と違った場合はコメントで補足説明 メールで提出してもらった事例フォーマットは、とりまとめののち、Decidimに掲載+検討会で紹介 →優れたものは、ガイドブック本文中に掲載 				

出た意見はガイドブック
に反映（個別にコメント
で返す）+検討会で報告

3月末
ガイドブック（第1版）発行

スマートシティガイドブック 事例提案フォーマット

基本情報		該当するガイドブック骨子の部分	
事業名	スマートシティ〇〇	章・ページ	〇章〇ページ
対象地区	〇〇市全域、〇〇地区 等	項目
実施主体	団体名： 構成員：	提案したい 取組の概要
実施時期	20XX年～		
HP等	http://.....		

取組概要

ガイドブック骨子に該当する取組のポイント

スマートシティの取組
全体の概要について、
図と簡潔な文章で記載

特に、ガイドブックと
親和性がある取組のポ
イントについて、
図と簡潔な文章で記載

基本情報		該当するガイドブック骨子の部分	
事業名	スマートシティ会津若松	章・ページ	2章3(1)6ページ
対象地区	会津若松市全域	項目	構成員を巻き込む工夫
実施主体	団体名： 構成員：	提案したい 取組の概要	スマートシティの取組の一環として、首都圏等のICT関連企業が機能移転できる受け皿としてオフィス環境をH31年4月に整備。ICT関企業が1つのビルに集結することでコラボレーション連によるサービスの創出を目指す。
実施時期	20XX年～		
HP等	http://.....		

取組概要

- ICTを健康や福祉、教育、防災、エネルギー、交通、環境など、様々な分野で活用し、新たなしごと・雇用の創出や生活の利便性向上を図る。



個人の属性（年齢、子どもの有無など）に応じたおすすめ情報や、右側に記載するようなサービス等を一体的に表示する「会津若松+（プラス）」



「学校だより」や「緊急のお知らせ」、「学校での活動の様子」など、学校情報をお知らせする「あいっこ+（プラス）」



健診や予防接種履歴等の市で保有する情報や、子育て関連のお知らせを表示する「母子健康情報サービス」

※サービスの利用にあたっては、事前に本人同意を取得する「オプトイン型」を徹底

ガイドブック骨子に該当する取組のポイント



- スマートシティの取組の一環として、**首都圏等のICT関連企業が機能移転できる受け皿としてオフィス環境をH31年4月に整備。**

オフィス棟

ICT関企業が1つのビルに集結することでコラボレーション連によるサービスの創出を目指す。各オフィスのプライベートな空間のほかサロン・ラウンジも設置。R2年10月時点で28社が入居。

交流棟

地域からイノベーションを起こすことを目指し、市民・大学・企業との交流を促す多目的空間として活用可能。

■出典：スマートシティA i C Tについて 施設概要
<https://aizu-aiyumu.co.jp/>

■出典：会津若松市HP
<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016052600011/>

① スマートシティの意義・必要性 に関して

「ビジョン分科会」から

② 推進体制 に関して

会津若松市様から

三井不動産様から

ガイドブック分科会 今後の予定

ガイドブックの構成のうち以下 ~ の論点について重点的に議論

- ①スマートシティに取り組む意義・必要性、②推進体制の構築
- ③財政的持続性の確保、④データ・技術・ノウハウ等に係る協調領域の構築

	日時	アジェンダ(案)
第1回	1/27(水) 10:00-12:00	・分科会の設立趣旨とガイドブック構成案の提示 10分 ・骨子案(①、②)の提示 10分 ・事例発表 3×10分 ①ビジョン分科会(内閣府) ②会津若松市、三井不動産 ・議論 60分 他
第2回	2/4(木) 14:30-16:00	・骨子案(③、④)の提示 10分 ・事例発表 2×10分 ③財政面からの持続性確保分科会 ④NEC ・議論 55分 他
第3回	調整中	・ガイドブック素案の提示 15分 ・議論 60分 他
	以降、3月末にかけて開催予定	